

迫る台風 嵐の得点合戦

最後までドキドキ

竜丘市民運動会開催



今年の竜丘市民運動会は十月十二日日曜日に予定されていましたが、毎週日本に襲い掛かる台風の影響で開催が危ぶまれました。しかし台風十九号の気まぐれによりなんとか開催することができました。

朝のうちは少し肌寒いくらいの陽気で、開会式のころから気温が上がり絶好のスポーツ日和となりました。今年の聖火は、時又八王子社より採火された聖火が竜丘中を回り、最終ランナーの時又分館の小学生によりトラックを一周して聖火台に点火されました。

競技の初めは小学生と保育園・幼稚園児のかけっこ。今年初めての競技として防災種目の「担架でGO!」が行われ、竹二本と毛布で簡易

担架をつくり子どもを乗せて歩く内容で、災害時の訓練としても良い競技となりました。

毎年恒例の年次むかでは、白熱した競技となり、優勝の行方にも大きくかわってきま

す。優勝の行方は桐林と時又のデッドヒートが続き、盛り上がり大きな声援となつて会場を取り巻きます。

優勝は桐林分館で九十八点、準優勝が時又分館で八十五点、三位には近差で上川路で七十六点、四位が長野原で七十四点、駄科の順位でした。

来年の大会も、一点を争う競技が大きな盛り上がりで一日楽しく行われることでしょう。今から来年の運動会が楽しみです。

なお、今年の運動会では、中学生のボランティアが二十六名と大勢参加して、綱引きのロープの出し入れやゴールテープ係やスタートのピストル係、景品係など多方面にわたり活躍していただき、これからの竜丘を支える力として大きく育ってきました。

上位を日差した練習、力をつけて
各分館の燃える闘魂 最後の種目で決まる優勝

今年も散々たる結果で終わった運動会でしたが、感心させられる事がありました。来年中学生になるから年次むかでに出たいと館長の

所へ申し出て来た小学生。テントの片付けを自分から申し出て手伝ってくれた女子中学生。運動会をやらされていたのではなく、自分たちも地域の為に何かをやるという事を、考えている子供たちが育って居るんだということ。

運動会行事も捨てたものじゃないですね。疲れた気持ちも少しふんわりとしました。

時又分館の一番の悩みは、選手選考です。区民数が少なく、一人一人に、いくつもの競技をお願いしなければなりません。特に、年次むかですが、一番の悩みですが、少数精鋭、一致団結でいい成績を残せて、よかったです。

「燃やせ情熱、掴め希望、さあ開けロマンの扉 第二章」とのテーマで、雰囲気

を大切にして取り組みました。結果、目標とした選手、スタッフ、区民で一番の輪ができました。



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,966人
男子 3,385人
女子 3,581人
世帯数 2,483戸
(26年10月末現在)

分館体育部長より

駄科

時又

桐林

分館対抗結果		
分館	順位	得点
駄科	5	49
長野原	4	74
時又	2	85
桐林	1	98
上川路	3	76



(応援大賞 駄科分館)



上川路



長野原



(全国大会出場報告)

台風で開催が直前まで心配された運動会。開催できて本当に良かった！早朝から時又の八王子神社を出発し竜丘を一周した聖火リレー、丘の子供たちから沢山の元気を貰いました。運動会が始まると大勢の中学生が運営に協力し活躍してくれました。各分館の慰労会も小学生からご年配の方まで沢山の方が出席された様子です。知り合って、ふれあって、学びあう。世代を超えた交流が運動会をきっかけにできたと思います。

しかし、こういった自然の環境や被害が少なかったことに「大丈夫」だと過信してしまつと、大きな災害に見舞われたときに対処できません。日ごろからの心構えと準備は大切ですので、怠らないようにしましょう。

本館



台風で開催が直前まで心配された運動会。開催できて本当に良かった！早朝から時又の八王子神社を出発し竜丘を一周した聖火リレー、丘の子供たちから沢山の元気を貰いました。運動会が始まると大勢の中学生が運営に協力し活躍してくれました。各分館の慰労会も小学生からご年配の方まで沢山の方が出席された様子です。知り合って、ふれあって、学びあう。世代を超えた交流が運動会をきっかけにできたと思います。

しかし、こういった自然の環境や被害が少なかったことに「大丈夫」だと過信してしまつと、大きな災害に見舞われたときに対処できません。日ごろからの心構えと準備は大切ですので、怠らないようにしましょう。

ヤブ敷

最近、御嶽山の噴火をはじめ、台風十八号・十九号と二週連続で大型の台風が日本列島を通過し、多くの犠牲者と被害が各地にもたらされました。

御嶽山では、噴火当日、行楽日和の休日、多くの登山客が訪れていたため、多くの犠牲者や被害に遭われた方がおりました。そのため、連日多くの方が救助のために活動されておりました。搜索も、噴火後の二つの台風や徐々に冬に近づいていることもあり、地面がぬかるみ、そして凍り付き発見するのも大変難しくなっています。

また、一部報道によりまずと、犠牲者の多くは噴石による打撲が原因とみられ、山頂付近には、噴石を避けるためのシェルターが無かったためと報じられていました。

台風については、海辺や都心では、床上浸水や道路の冠水など各地で多くの被害がもたらされました。幸い事前避難等された方が多く人的被害は少なかったように思います。

この飯田地域では幸いにも、御嶽山の噴煙もあまり舞ってきませんし、台風被害も一部地域で停電等ありましたが二つの台風共に大きな被害はありませんでした。台風については、北アルプス・南アルプスなどの大きな山脈に囲まれているから被害が少なかったのかと思っております。

企画内容も充実し 大いに盛り上がった

文化祭

竜丘地区文化祭は十一月八日、九日竜丘公民館で行われ、各種の催し物、展示等盛りだくさんの内容で多くの皆さんで賑わいました。

今年の竜丘地区文化祭は、開会式前から楽しい企画がありました。OIDE長姫高の皆さんによる「テックレンジャー」の公演には、子供を中心に多くの人が朝早くから集まり子供たちを魅了しました。下平公民館長の挨拶で文化祭が開会しました。開会後の緑中合唱部の澄んだ声は公民館の庭に響き渡りました。その後の吹奏楽部の演奏は周りの雰囲気をも和ませてくれました。



今回の文化祭では特別企画として「たつおか村復刻版上映が行われ会場は年輩の方で一杯となりました。六十二年前の映像では当時の自分と照らし合わせ真剣に鑑賞されていました。この映像をCD化し千円で販売されており好評でした。ご購入ご希望の方は公民館迄お願いします。その他にも多くのイベントがあり

ました。二日目は時又保育園のマーチングバンド・竜丘保育園の子どもじよんがこいソーランの発表が体育館で行われ子供たちの元気をもらい、子供たちも見ていた大人も大満足の発表でした。催し物も多く来場される方々も自分と興味のある場所に立ち寄り気軽に取組める事が出来るのも文化祭の特徴です。水引きを使ったアクセサリ作りには講師の指導のもと真剣に水引きを結ぶ姿が見られ、スポーツ吹き矢体験では、大人から小さい子供まで気軽に取組むのに当たると軽快な音が響き静かなブームになりそうな予感を感じました。

今回の文化祭を二日間取材しましたが地域の文化の発表の場として非常に各分館各種団体の連携ができており盛り沢山の企画もあり内容のある文化祭でした。子供・各分館・各種団体と日常の活動の発表の場としての文化祭の意義は深く、今回の文化祭の盛り上がり

時又分館



駄科分館



長野原分館



桐林分館



上川路分館



熱い思いが漲って

桐林秋祭り

十月十八日に桐林秋祭りが行なわれました。当日は秋晴れの日となり少し暑く汗ばむ時間帯もありました。桐林八幡社に午後二時に集合し神主さんの安全祈願を執り行なった後、南コース、中コース、東コースに分かれて御神輿の出陣式をし出発しました。子供神輿も多く参加で賑やかに各商店と個人のお宅に安全祈願を込めて廻り、五時にはグラウンドに神輿入り本部前

にきよい込み、しばし時間後、辺りも暗くなり夜店には、焼鳥、焼そば、五平餅など販売され、豚汁とふるまい酒は無料で配られました。夜になって寒さが一段と強くなってきた所での豚汁は体が暖まり、ほっとする味でした。初めに鈴岡太鼓の勇壮で力強い太鼓で秋祭りを盛り上げて頂きました。そして花火が番付順に打上げ、恒例のナイヤガラとギフチョウ、ドラえもん仕



皆様の協賛金と区会壮年会の良さを大いに感じて頂ける機会になりました。ありがとうございました。

九月二十八日の公民館研修旅行では、最近、新聞や雑誌で取り上げられたこともあるスポーツ吹き矢にチャレンジしました。スポーツ吹き矢とは、一九九八年に日本で生まれた新しいスポーツで、五、十m先の円形のめがけて息を使って矢を放ちます。老若男女誰でも気軽に楽しめるスポーツです。

研修は、スポーツ吹き矢が盛んな原村を訪れ、体験しました。原村では、ニュースポーツの普及を図るため、体育指導委員が取り組んでいます。まず、指導員がプレゼンテーションを行いました。

研修旅行

スポーツ吹き矢

吹いて爽快!

面白かった。吹いたときの爽快感が良いなどの感想が聞かれました。公式種目ではありませんが野外で行う競技もあるとのこと。ぜひ、竜丘でも広げていきたいと館長のお礼の挨拶がありました。



長年の功績が たたえられる

長野県公民館表彰

長年の公民館活動の功績に対し、桐林の鈴木運友さんが「長野県公民館活動推進功労者表彰」を受賞されました。



授賞式は、九月二十六日に、飯山市公民館で行われ、飯田市からは、二名の方が受賞されました。鈴木さんは、現在もコーディネーショントレーニング指導員として公民館に尽力されています。今後も、竜丘公民館の発展に、中心となり、指導をお願いします。